

衆議院外務委員会ニュース

【第 200 回国会】令和元年 11 月 8 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

- 1 日本国とアメリカ合衆国との間の貿易協定の締結について承認を求めるの件（条約第 1 号）
デジタル貿易に関する日本国とアメリカ合衆国との間の協定の締結について承認を求めるの件（条約第 2 号）
 - ・ 茂木外務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。
（質疑者）鈴木憲和君（自民）、岡田克也君（立国社）、杉本和巳君（維新）、井上一徳君（希望）

（質疑者及び主な質疑事項）

鈴木憲和君（自民）

- (1) 災害発生時の在留外国人、在外邦人への情報提供
 - ア 旅行者、労働者等の在留外国人に対する今後の災害発生時の情報提供の方法
 - イ 在外邦人への災害発生時の情報提供の在り方についての再点検に向けた政府の対応
- (2) 米バージニア州アナンデルで行われた慰安婦問題を象徴する少女像の除幕式（2019. 10. 27）に同州副知事や同州議会関係者が出席し、同州知事の祝辞が代読されたことへの外務省の対応
- (3) 日米貿易協定
 - ア 本協定交渉において我が国が守った部分及び勝ち得た部分
 - イ 米国産牛肉に対するセーフガード措置の発動水準（2020 年度）が 24.2 万トンと設定された理由
 - ウ 米国分を含んだままの T P P 11 における牛肉のセーフガードの発動基準数量の修正協議に向けた政府の方針とスケジュール
 - エ 今後の関税分野の交渉において自動車・自動車部品の関税撤廃が確実にその対象でありコメは対象とはならないとの認識の可否
 - オ 今後の農林水産物の輸出促進及び農林水産物の体質強化に向けた政府の考え方
 - カ 在外公館が収集した情報等の利活用を含めた農林水産物の輸出促進に向けた政府の今後の具体的取組

岡田克也君（立国社）

日米貿易協定

- ア 安倍総理がトランプ米大統領との間で米通商拡大法第 232 条に基づく自動車への追加関税の回避を確認したとき及び茂木外務大臣がライトハイザー米通商代表との間で自動車への数量規制等が課されないことを確認したときの具体的やり取りが分かる資料の委員会への提出
- イ 安倍総理が 10 月 10 日の予算委員会で存在を認めた日本側作成の交渉議事録のうち安倍総理や茂木外務大臣の発言部分の委員会への提出
- ウ 自動車への数量規制についての日米間の認識に齟齬がある可能性を検証するための交渉議事録の委員会への提出
- エ 自動車への数量規制の W T O 協定整合性についてのライトハイザー米通商代表の認識
- オ 「W T O 協定に反しない」自動車への数量規制についてライトハイザー米通商代表と茂木外務大臣との間で合意がない可能性
- カ 本協定の交渉議事録を委員会へ提出できない何らかの事情の存否
- キ 本協定の交渉議事録等の委員会への提出が審議の前提との考えについての茂木外務大臣の見解

杉本和巳君（維新）

- （１） WTOが直面している問題点、その問題解決のため必要な改革内容、及びWTO改革において我が国が果たすべき役割
- （２） 米国市場における日本車の輸出台数、現地生産台数及び今後の米国内での我が国の自動車メーカーによる工場建設計画

井上一徳君（希望）

- （１） 米通商拡大法第 232 条に基づき自動車・自動車部品に 25%の追加関税が賦課される場合の追加関税額
- （２） 日米貿易協定において関税撤廃の対象となる自動車・自動車部品の範囲を公表できない理由
- （３） 日米貿易協定発効後 4 か月以内に行われる日米協議の際の日本側交渉責任者